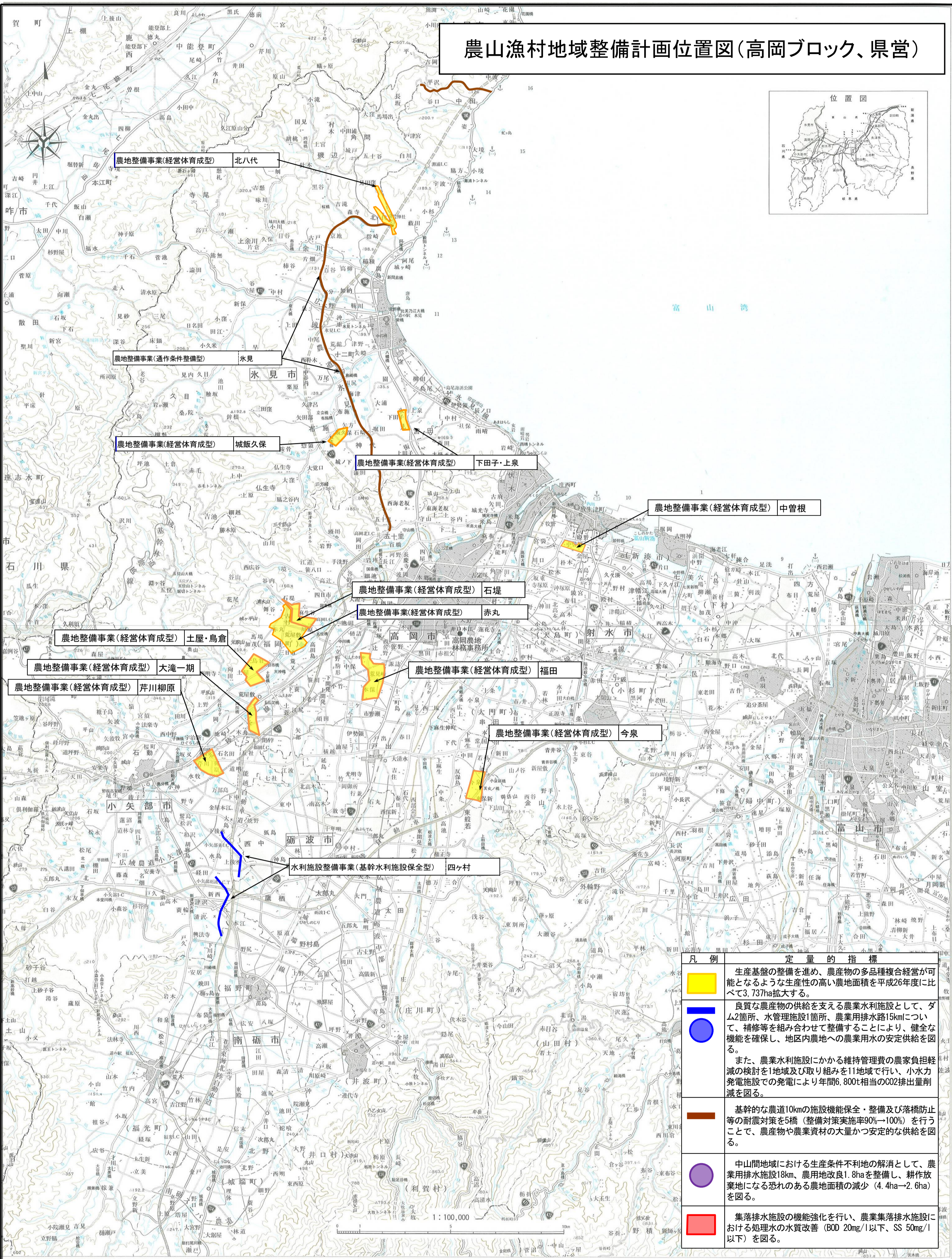
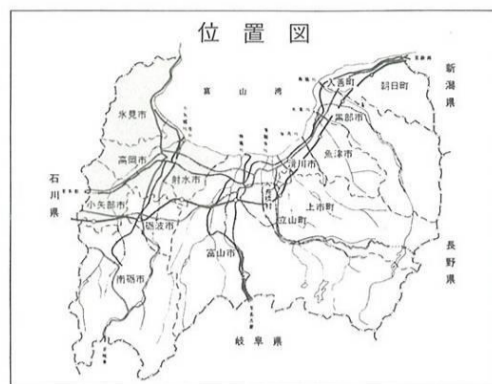


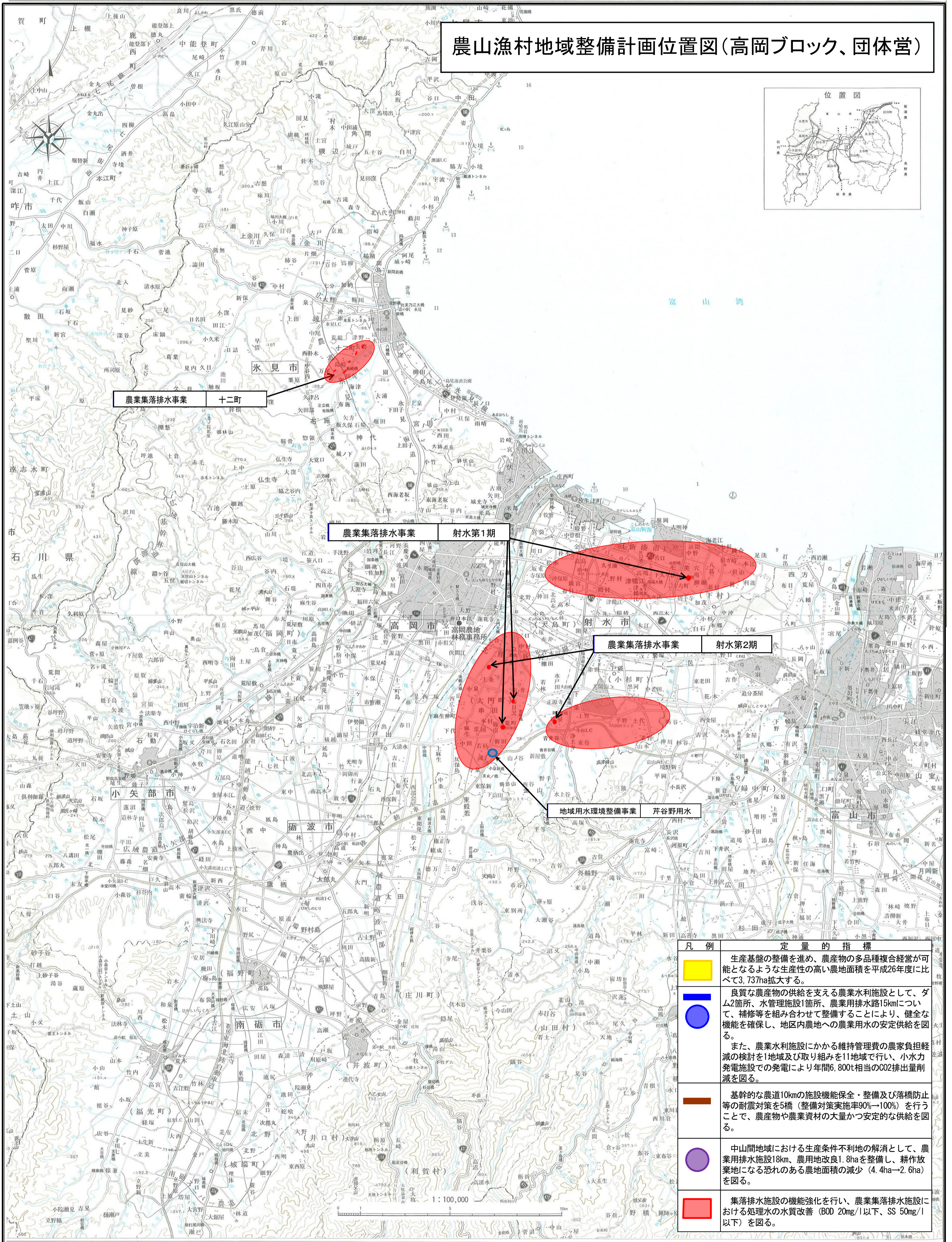
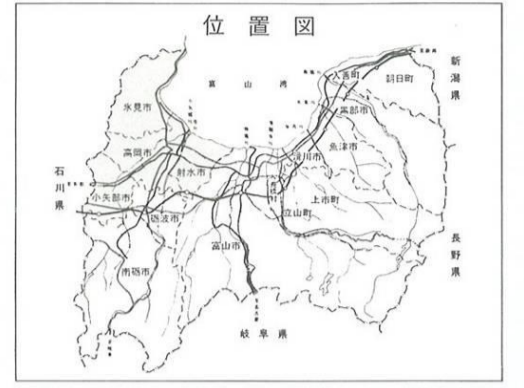
農山漁村地域整備計画位置図(高岡ブロック、県営)



凡例	定量的指標
	生産基盤の整備を進め、農産物の多品種複合経営が可能となるような生産性の高い農地面積を平成26年度に比べて3,737ha拡大する。
	良質な農産物の供給を支える農業水利施設として、ダム2箇所、水管理施設1箇所、農業用排水路15kmについて、補修等を組み合わせて整備することにより、健全な機能を確保し、地区内農地への農業用水の安定供給を図る。 また、農業水利施設にかかる維持管理費の農家負担軽減の検討を1地域及び取り組みを11地域で行い、小水力発電施設での発電により年間6,800t相当のCO2排出量削減を図る。
	基幹的な農道10kmの施設機能保全・整備及び落橋防止等の耐震対策を5橋(整備対策実施率90%~100%)を行うことで、農産物や農業資材の大量かつ安定的な供給を図る。
	中山間地域における生産条件不利地の解消として、農業用排水施設18km、農用地改良1.8haを整備し、耕作放棄地になる恐れのある農地面積の減少(4.4ha→2.6ha)を図る。
	集排水施設の機能強化を行い、農業集落排水施設における処理水の水質改善(BOD 20mg/l以下、SS 50mg/l以下)を図る。

1 : 100,000

農山漁村地域整備計画位置図(高岡ブロック、団体営)



凡例	定量的指標
	生産基盤の整備を進め、農産物の多品種複合経営が可能となるような生産性の高い農地面積を平成26年度に比べて3.73ha拡大する。
	良質な農産物の供給を支える農業水利施設として、ダム2箇所、水管理施設1箇所、農業用排水路15kmについて、補修等を組み合わせ整備することにより、健全な機能を確保し、地区内農地への農業用水の安定供給を図る。 また、農業水利施設にかかる維持管理費の農家負担軽減の検討を1地域及び取り組みを11地域で行い、小水力発電施設での発電により年間6,800t相当のCO2排出量削減を図る。
	基幹的な農道10kmの施設機能保全・整備及び落橋防止等の耐震対策を5橋（整備対策実施率90%→100%）を行うことで、農産物や農業資材の大量かつ安定的な供給を図る。
	中山間地域における生産条件不利地の解消として、農業用排水施設18km、農用地改良1.8haを整備し、耕作放棄地になる恐れのある農地面積の減少（4.4ha→2.6ha）を図る。
	集落排水施設の機能強化を行い、農業集落排水施設における処理水の水質改善（BOD 20mg/l以下、SS 50mg/l以下）を図る。